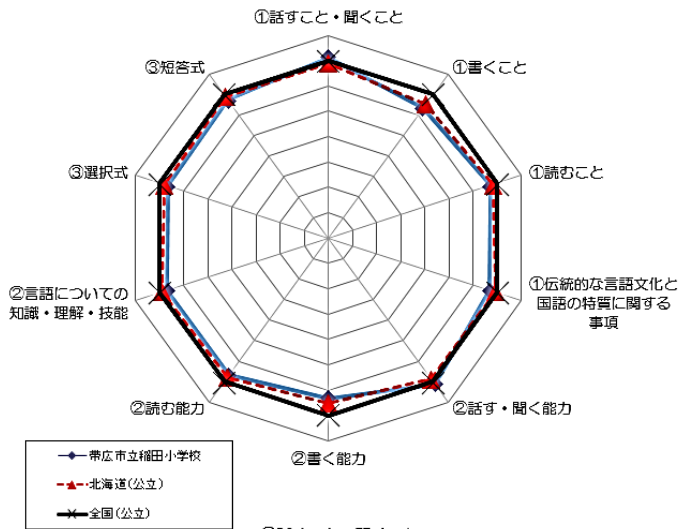


平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果から

全国の小学校6年生を対象に行われた全国学力量習状況調査の結果や分析された傾向については、既に報道等でもご存知の通りですが、過日帯広市の分析結果が発表され、新聞報道や市のホームページなどでも公表されました。これを受け、本校の結果や傾向についてお知らせします。まず、調査が行われた国語と算数の傾向と今後の対策についてです。

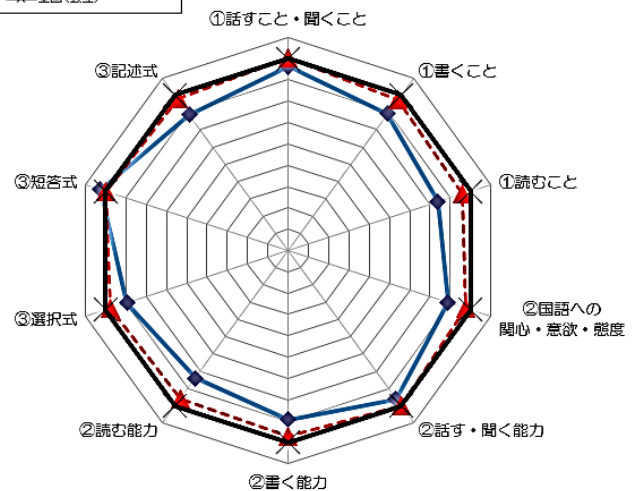
<国語A> 基礎・基本の定着を調べる問題

- ☆ 全体的な正答率は、全国平均を下回っている。しかし、どの項目も平均に近づいており、基礎的な国語の力は定着しているといえます。
- 話す・聴く力はどの項目でも全国を上回り、特に力がついています。
- 書く能力についての項目が全国との差が大きく、課題が見られます。



<国語B> 知識技能を活用する応用問題

- ☆ 正答率は全道、全国平均を下回っています。
- 短答式の問題では、全国を上回っており、短答式の問題は得意な傾向にあります。
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える問題に課題が見られます。
- 物語を読み、自分の考えを広げたり、まとめたりする学習に課題がみられます。

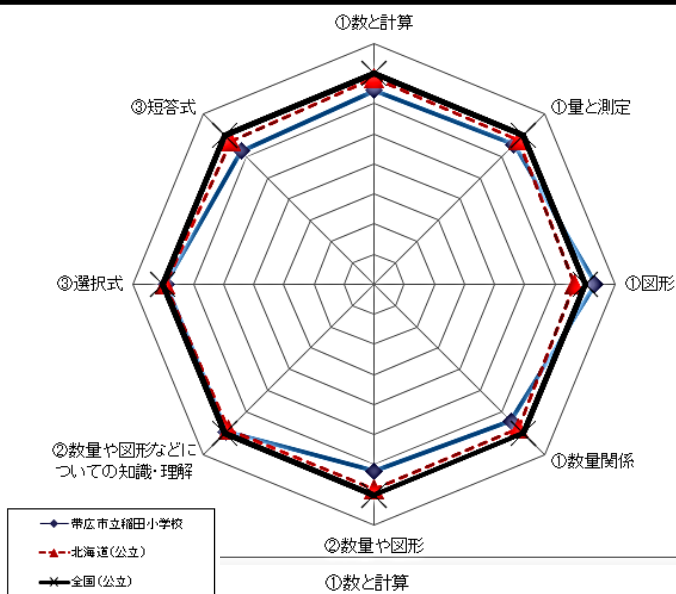


改善に向けて<国語>

- ◆ 漢字の『書き』の正答率を増やすため、朝学習や宿題など利用して、くり返し学習できるように引き続き取り組んでいきます。また、同音異義語の間違いも多かったので語彙を増やせるよう、国語辞典なども学習に取り入れ指導していきます。
- ◆ 答え方に条件がある問題に苦手傾向があるので、普段から字数や時間の制限をしながら、自分の意見や学習のまとめなどの文章を書けるような指導を進めます。
- ◆ 作文やスピーチ活動では、組み立てのメモなどを生かして文を作るなどして、資料を活用したり、大事なところを整理・要約できる力を他学年の発達段階をふまえて充実していきます。

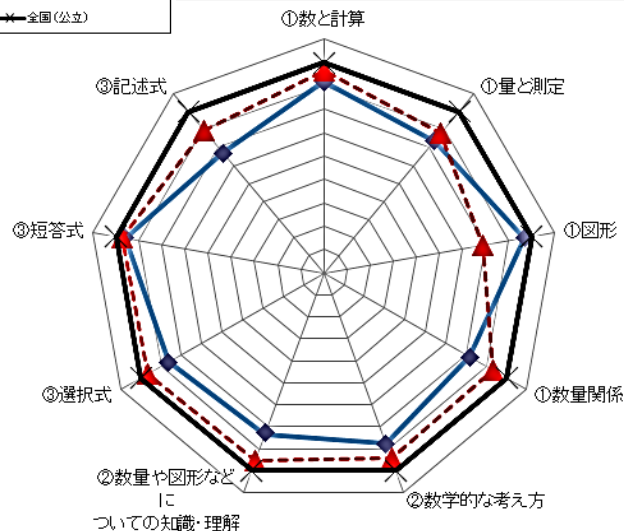
<算数A> 基礎・基本の定着を調べる問題

- ☆ 全体的な正答率は、全国平均を下回っているがおおむね平均に近づいており、基礎的な力は定着しているといえます。
- 整数の乗法の学習の平均は全国を上回っており、基本的な計算の力がついています。
- 商を分数で表す方法や二次元表の問題の差が全校平均より下回っていて大きな課題となっています。



<算数B> 知識技能を活用する応用問題

- ☆ 正答率は全道、全国平均を下回っています。
- 算数Aと同じく図形の領域で正答率が全道を上回っており、応用の問題でも力を発揮しています。
- 人数の割合を表すグラフを選ぶ問題では、特に全国との差が大きかったです。
- 割合を基に比較量を判断し、その理由を記述する問題は特に正答率が低かったです。



改善に向けて<算数>

- ◆ 二次元表は4年生の学習で、それ以降なかなか触れることのない表です。どの学年においても内容がしっかり定着するよう、宿題などで繰り返し学習していきます。
- ◆ 記述の問題の正答率が低かったことから、日頃から「応用」の問題に取り組み、じっくり問題文に向き合う機会を設けていきます。
- ◆ 朝学習の『つく指導』時に計画的に取り組むなどして、答え合わせの際に解説するなど長い目でみた取組が必要です。
- ◆ 校内研修とのつながり深め、言語活動を通して応用の問題にも適応できる力を育てていきます。
- ◆ 普段から色々な教科で資料やメモを活用して、問題を解決したりまとめたりする学習を行っていきます。

◎全体を通して

全体的に、全国の学力を下回る結果となりました。全国学力・学習状況調査以降、算数などは宿題や朝学習などで練習しています。また、今後も問題の解き直しを進め、力の定着を確認していきます。

全国学力・学習状況調査 児童質問紙の結果から

児童質問紙では、児童の学習の様子や生活の習慣などの様子を調査しています。そんな稲田小学校の様子を全国と比べて記載しています。自分のお子さんとも比べてみて、他の家庭との生活や意識の違いを確認してみるのもいいかもしれませんね。

	質問項目	稲田小学校	全国	昨年度の稲田小学校
規範意識	・自分にはよいところがあると思う	72.7	77.9	82.1
	・人の役に立つ人間になりたいと思う	84.6	92.5	95.8
	・学校のきまりを守っている	88.0	92.6	94.9
	・いじめはどんな理由でもいけない	94.9	96.1	97.5
家庭での学習	・普段1日あたり1時間以上勉強する。	75.3	88.7	89.8
	・休みの日に1日あたり1時間以上勉強する。	46.2	57.3	71.9
	・家で自分で計画を立てて勉強している。	53.0	64.5	72.7
	・家で学校の授業の予習をしている。	29.0	41.0	57.3
	・家で学校の授業の復習をしている。	46.2	53.8	71.0
	・1日のテレビ等視聴時間(1時間未満)	13.7	16.9	13.7
生活習慣	・1日のテレビ等視聴時間(1～3時間)	47.0	50.3	51.3
	・1日のテレビ等視聴時間(3時間以上)	39.3	32.7	35.0
	・1日のゲーム等の時間(1時間未満)	36.7	44.4	35.9
学習への意欲	・1日のゲーム等の時間(1～3時間)	32.5	37.9	46.2
	・1日のゲーム等の時間(3時間以上)	30.8	17.6	17.9
	・国語の勉強が好き	54.7	60.5	56.4
	・国語の授業の内容はよくわかります	73.5	83.2	82.1
	・読書がすき	71.8	74.3	77.8
	・算数の勉強が好き	63.2	65.9	65.0
意欲	・算数の授業の内容はよくわかりますか	76.9	77.9	81.2
	・算数で問題に解き方や考え方がわかるようにノートに書いている	79.5	86.0	82.1

◎学校質問紙を通して

特筆すべきは家庭での学習の習慣の部分が軒並み全国との差が広がっています。これからは中学～高校受験へ向けて、家庭での学習習慣は重要です。家庭学習への意識も向けつつ習慣づけていくことが必要ですね。また、長時間ゲームをする子どもも多いようです。ゲームをする時間やルールを決めて勉強の時間に切り替えていけるといいですね。

